

## ◆ 執筆者紹介 ◆

吉田豊治	別府大学文学部講師
周国興	北京自然博物館副館長 白蓮洞洞穴科学博物館館長
坂口淳志	別府大学文学部講師
橋昌信	別府大学文学部教授
後藤重巳	別府大学文学部教授
飯沼賢司	別府大学文学部助教授
山本春樹	別府大学文学部助教授
村上允英	別府大学文学部教授

## ◆ 編集後記 ◆

史学論叢24号は、図書館設立を通して文明開化の時期の地方の近代化を究明した吉田豊治先生の論文と橋の論文の2本といささか寂しい感がする。

その反面、平成5年11月に別府大学アジア歴史文化研究所の招聘で来学された、周国興先生の特別講義「中国古人類学研究の歴史と現状」の発表要旨の玉稿をいただいた。この原稿を坂口淳志先生に翻訳の労をお願いして、本号を飾ることができた。両先生に心からお礼を申し上げたい。

さらに史学科創立30周年記念事業の初年度行事を兼ねて、平成5年11月27日に開催された、史学研究会秋季大会での史学科の先生方の発表要旨を掲載することができた。なお、英文目次については今回も本学の利光正文助教授をお願いした。合わせてお礼を申し上げたい。

平成6年度は記念事業の2年度目に当たるだけに、史学研究会のさらなる発展と史学論叢のより一層の充実を図りたい。